

作成: 芝崎

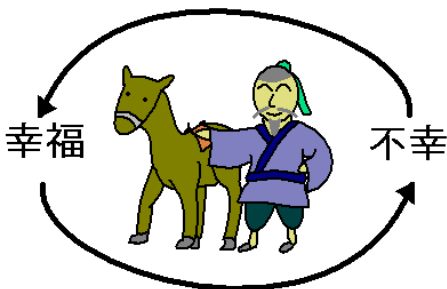
49. 最近の話題篇: ワールドカップから思う事

今回の日本の戦いは変化が多き過ぎた。最初の1次リーグ「ドイツ」戦、まさかの逆転勝ち↗。
次に「コスタリカ」戦まさかの敗戦↘。背水の陣で迎えた「スペイン」戦; まさかの逆転勝ち↗。
以前からの下馬評、そして後がない状況から、上手いプレーが飛び出す。馬力で突進して豪快なゴール、
45度からのシュートには自信ありと見事にうまくゴールを、ラインぎりぎりまでボールをあきらめず、うまく
捕え、ウマの合った仲間にパス、ゴールにつなげる。日本に今までなかったゴール、千載一遇のチャンス
を逃さなかった彼らは見事だった。その勢いのある上向きの波をさらに期待感が高まるが、千軍万馬の
つわものを相手にするのは大変で、そんなには甘くなかった。そして、決勝トーナメントでの「クロアチア」
戦、先制ゴールでその勢いの波を願ったが、まさかの引き分け、あげくの上、PKでまさかの敗戦↘。
ピシッ(P)と勝つ(K)のPKで決めてもらいたかったが、とても残念。この壁が厚い感じ、この戦いから、
勝↘負↗勝↘負↗の歓喜/失望の波から今度は上昇傾向で次回に希望を持ちたい。
そして、美酒(うまざけ)を飲みたいものだ。
この波から、中国の故事; 「人間万事塞翁が馬」を思い出す。人生もサッカーも良い事(幸福)と悪い事
(不幸)の繰り返して、希望をもって立ち向かうことを示唆した話。波の頂点に立てば、後はいずれ下り坂、
底まで来ると、努力等で登り坂にしないでなければならない。何事もこの繰り返しかも。

笑いのポイント(笑点)

- さ: 最(さ)高の形で一次リーグをまさかのトップで通過
- い: (い)いチャンスを生かし、ゴール
- お: 多(お)くの人が驚いた、まさかの展開
- う: (う)まい具合に逆転勝ち、
- が: 頑(が)張った成果だろうが、決勝リーグは先制点とったのに引分け、
- う: (う)まくすれば、ベスト8の期待高まるが、まさかのPKの落とし穴
- ま: まさに良い事と悪いことの繰り返し...「人間万事塞翁が馬」のごとく。

➡ 人生は山あり谷ありの波が繰り返しやってくる感じがある。今の状態をいかにピークにできるかを
みんなの大きな課題であり、チャンスは落馬しないようにうまく生かし、ピンチは反省を踏まえて
おおいに熟考する時であろう。これが人生・何か成し遂げる為に上手く乗り越えるコツかもしれない。



以上